



新型コロナウイルスワクチン接種について 親が知っておくべきこと

新型コロナワクチン接種は生後6ヶ月以上の方に推奨されています。

なぜ子供に新型コロナワクチンを受けさせる必要があるのですか？



- 子供における新型コロナウイルス感染症に関しては一般に症状が軽いようですが、健康な子供でも**重症化してしまい**、入院するというケースもあります。中には新型コロナウイルスに感染後、命を落としてしまう子供もいます。
- 子供も、新型コロナウイルス感染症から**長期にわたり**、精神的および身体的な**健康問題**を抱える場合があります。
- お子様**が重症化する危険性**や**長期的な合併症**を引き起こす可能性を事前に調べる方法はありません。
- ワクチンを受けさせ、感染から**お子様を守りましょう**。

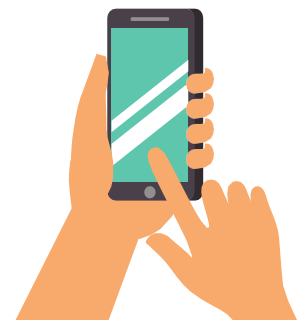
新型コロナワクチンの基本情報

- 新型コロナワクチンの**接種量**はお子様の体格や体重ではなく**年齢を基準にしています**。12歳以上のお子様は大人と同じ量を接種します。
- この基準は5歳以上のお子様**が初回接種またはブースター接種から2ヶ月後に受ける最新の(2価)ブースターワクチン**も同様です。全年齢の子供の接種量に関する詳細や情報はph.lacounty.gov/covidvaccineschedulesをご覧ください。
- 新型コロナウイルスに感染していたお子様も**免疫力を高める**ために、ワクチン接種を受けることをお勧めします。
- 新型コロナワクチンと他の定期予防接種を同時に接種することも可能です。



子供にワクチン接種を受けさせるためには？

- ワクチンは誰もが無料で受けることができます。医療保険は必要ありません。滞在資格などについて質問されることもありません。
- お近くの接種会場をお探しの場合は、ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated までアクセスしてください。お子様の年齢に適したワクチンがその会場で接種されているかの確認と**親・保護者の同意書**についてお尋ね下さい。大抵の場合、薬局では3歳以下の子供を対象とするワクチンを扱っていないのでご注意ください。
- ワクチン接種、交通手段、訪問接種などに関するお問い合わせは公衆衛生局のワクチンコールセンター **1-833-540-0473** 又は **2-1-1** までお電話ください。





新型コロナウイルスワクチン接種について 親が知っておくべきこと

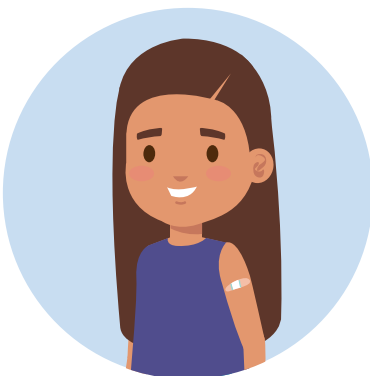
ワクチンの副反応にはどのようなものがありますか？

- 子どもの定期接種で見られるような副反応が出ることがありますが大抵の場合、**症状は軽く**、数日もすれば**回復します**。副反応が全く現れない子供もいます。
- 一般的なものに、注射した部位（腕や太腿）の痛み、腫れ、赤み、または筋肉痛、関節痛、リンパ節の腫れ、発熱、悪寒、頭痛、イライラしたり、泣いたりする、倦怠感、眠気、食欲不振などがあります。



子供への新型コロナウイルスワクチンの使用は安全ですか？

- **はい、新型コロナウイルスワクチンは子供にとって安全です**。子供たちにワクチンを推奨する前に、ワクチンの安全性と予防効果を検証するために何千人もの子供たちを対象に臨床試験が行われています。
- 新型コロナウイルスワクチンは米国史上最も**集中的な安全性の評価**を行っており、これからも引き続き、実施していきます。
- 新型コロナウイルスワクチン接種後に稀に発症する心筋炎（心臓の筋肉の炎症）および心膜炎（心臓の外側を覆う膜の炎症）が報告されており、主に**12歳以上の男子**に見られています。
 - 1回目と2回目の接種間隔を長くあけることでリスクを低減することができます。
 - 新型コロナウイルス感染症によるリスクに比べ、ワクチンによる心臓へのリスクは、はるかに低いとされています。
- お子様が新型コロナウイルスワクチンから**新型コロナウイルスに感染することはありません**。
- 新型コロナウイルスワクチンが発育や生殖能力に影響を及ぼすという証拠はありません。



詳細は [VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov) から **新型コロナウイルスワクチンに関する保護者の方からよくある質問** をご覧ください。

